

平成 20 年 2 月

田路澄代 学位論文審査要旨

主 査 渡 邊 達 生

副主査 福 本 宗 嗣

同 宮 川 征 男

主論文

Effects of long-term estrogen treatment on micturition behavior and the sensory neurons of the urinary bladder in old female rats

(老齡雌ラットにおけるエストロゲン補充療法の排尿行動および膀胱感覚神経に及ぼす影響)

(著者：田路澄代、渡邊健志、宮川征男)

平成 20 年 Urologia Internationalis 掲載予定

審 査 結 果 の 要 旨

老齡雌ラットに対してエストロゲン補充療法を行い、排尿行動及び求心路神経に及ぼす影響について検討した。エストロゲン補充療法により、膀胱重量の増大、最大排尿容量と平均排尿容量の増加、排尿回数の減少を認めた。しかし、求心路における $P2X_3$ 、CGRP、substance P に変化は認められず、これらのエストロゲンによる治療効果への関与は認められなかった。

本論文の内容は、エストロゲン療法による尿失禁の治療の可能性を明らかにしたものであり、婦人泌尿器科学領域に多大な貢献をするとともに学術水準を高めたものと認める。